

# 奈氏関係系史跡



**17 栗橋関跡 (久喜市)**  
日光道中栗橋宿にあった関所で、中田宿(古河市)に渡す房川渡の地先に設けられました。家康関東入国後、伊奈忠次が市川・松戸・房川の三関の守りを命ぜられ、慶長5年(1600)の上杉攻めの際には忠次がこの関を守り、忠政が近習に「取り立てられた」といいます。

県指定・記念物(旧跡)

**10 平源寺 (蓮田市)**  
天正19年(1591)閏正月、伊奈忠次は埼玉郡上平野村(蓮田市)の平原寺(平源寺)宛に、寺内林の濫伐禁止を命じる制札を出しています。

**11 秀源寺 (蓮田市)**  
伊奈忠次の家臣富田吉右衛門が、主君忠次の追福のため再興した寺です。富田吉右衛門家は、伊奈忠次と忠治家系の伊奈代官の全世代に筆頭家老として勤仕した近江国出身の譜代家臣です。

**18 大川戸陣屋跡 (松伏町)**  
古利根川と庄内古川に挟まれた位置にある徳川家康の陣屋跡です。慶長5年会津の上杉攻めに向った家康が、石田三成の拳兵を圍いて、下野小山(小山市)から江戸へ戻る途中、伊奈忠次に陣屋の構築を命じ、自筆の評割書を渡したといわれます。後に忠次が家臣の杉浦氏に与えられました。

**14 八幡宮石祠 (伊奈忠順の碑文)**  
伊奈忠順(忠常の子、忠篤養子となる)が宝永4年(1707)11月に、父母の報恩と伊奈家の繁栄を願って宮城を整備し、山王社の傍らに造立した石祠です。

市指定・有形文化財(歴史資料)

**16 伊奈家頌徳碑(川口市 源長寺)**  
伊奈半十郎忠治系3代忠常が、寛文13年(延宝元、1673)6月13日初代忠次の命日に建立した石碑で、忠次、忠政、忠治3代の治績を讃えています。

市指定・有形文化財(歴史資料)

**8 備前堤 (桶川市)**  
元荒川の水が綾瀬川に流れ込んで度々水害を起すために、足立郡小針領家村(桶川市)から埼玉郡高虫村(蓮田市)にかけて築かれた堤防です。慶長13~16年(1608~11)頃に伊奈忠次の「鼠立」によって築かれたと考えられています。

**9 明星院 (桶川市)**  
天正19年(1591)伊奈忠次は陣屋を築くため、小室の無量寺閻伽井坊を明星院に移転させ、付近の田3町歩を寺領として与えています。閻伽井坊の良鐘は、まもなく明星院13世となり、中興開山と称されています。以後、無量寺の任職は明星院任職が兼ねました。

**7 伊奈忠次墓 鴻巣市 勝願寺**  
伊奈忠次は慶長15年(1610)6月、忠次の二男忠治は、承応2年(1653)6月に死去し、ともに勝願寺に葬られました。系譜によれば、忠家(忠次の父)・忠政(同長男)・忠公(同四男)・忠雪(同五男)忠隆(忠政の二男)等も勝願寺に葬られたとありますが、現在忠次・忠治夫妻の墓塔のみが残っています。勝願寺は、出家した忠次の三男忠武も任職を務めたことがある浄土宗の寺です。

県指定・記念物(史跡)

**12 永田陣屋跡 (さいたま市)**  
慶長期に伊奈忠次によって築かれた陣屋で、土屋陣屋とも呼ばれています。忠次は荒川水系の治水と灌漑のためにこの陣屋を設置したといわれ、伊奈氏が赤山陣屋を築いた後は、家臣の永田庄左衛門家に与えられたといわれています。現在長屋門と構城が残っています。

県指定・重要遺跡

**13 赤山城跡 (赤山陣屋跡) (川口市)**  
伊奈忠次の没後、二男忠治は代官頭職の実務を継承し、元和4年(1618)忠政(忠次の嫡男)が亡くなると、足立郡赤山領25ヶ村を宛がわれて新たに家を興し、その中心地に赤山陣屋を築きました。

県指定・記念物(旧跡)

**15 伊奈家代々の墓 (川口市 源長寺)**  
伊奈忠治は赤山陣屋の南端に、弟の日養源貞に託して、伊奈氏の新しい菩提寺源長寺を開創しました。源長寺には忠克以降、忠常・忠篤・忠順・忠辰・忠信、忠敬が葬られているほか、忠次・忠治等の供養塔も建てられています。